

若穂 WAKAHO

江戸崎中学校 学校だより第7号

発行日：令和8年1月9日

生徒数：293名

文責：教頭（石川）

新年もよろしくお祈いします

新年が明け、令和7年度も残すところ3か月になりました。これから、今年度のまとめや次年度に向けての行事等が続きます。学年末テスト、学年末PTA授業参観、3年生を送る会、卒業式、修了式、3年生には、高校入試、新入生には、新入生説明会と様々な行事が予定されております。

様々な活動に子供たちが主体的に取り組み、円滑に進級や進学ができるよう、教職員一丸となって支援していきたいと考えています。ご家庭でもお子様へのお声かけの程、よろしくお祈いいたします。

学校評価アンケートから

11～12月にかけて実施した学校評価アンケートにご多用の中、ご回答いただきありがとうございます。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

| 高く評価いただいた点：情報共有とボランティア精神の育成

特に高い評価をいただいたのは、「学校からの情報発信（Q.23）」「ボランティア精神の育成（Q.10）」や、「生活の記録」を活用した「生徒理解」（Q9）について、また、本校本校のねらいでもある居場所づくりや課題への粘り強い挑戦を目指し、生徒主体とした学校生活や行事運営が行うことができた本校の取組が評価していただいたと捉えることができます。

加えて、社会の変化に対応した教育活動の見直し（Q2）や、施設設備の安全確保（Q25）についても、市教育委員会と連携しながら施策を進めることで、一定の成果を上げていると認識しております。

| 今後の課題：ICTの活用と家庭との連携

一方で、さらなる改善が必要な項目も見えてきました。最も大きな課題は、「AIドリル等を活用した自主学習習慣の育成」（Q6）です。ICT機器の授業での活用（Q4）は進んでいるものの、それが家庭での自学自習に十分に結びついていない現状があります。

また、以下の点についても、今後重点的に取り組むべき事項として捉えています。

- ・登下校や家庭での過ごし方への指導：交通ルールや携帯電話の使い方や生活習慣に関する指導（Q17、Q20、Q24）
- ・学力の定着：一人一人に学習内容を身に付けさせるための対策（Q5）
- ・進路指導の充実：主体的に進路を選択できる能力の育成（Q22）

| 今後の取り組みに向けて

アンケート結果を真摯に受け止め、今後はICT機器を「自ら学ぶためのツール」として使えるよう指導してまいります。また、交通ルールや家庭での生活習慣についても、学校とご家庭がより密に連携し、生徒が安全で、心身ともに健やかに成長できる環境を整えていく力が向上していくよう指導を継続してまいります。学校と家庭は、いわば「車の両輪」のような関係です。同じ方向性をもつことで、子どもたちが予測困難な未来をたくましく生きていける力をさらに伸ばしていけると考えております。今後とも、本校の教育活動への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

各項目の回答結果

(青は、肯定的回答の上位の項目、赤は、肯定的回答の下位の項目。単位は%)

No.	質問	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	学校は、PTAや学年・学級懇談、各種通信を通して学校教育目標や指導方針を伝えている。	47	46	7	0
2	学校の教育活動や行事は、2学期制への移行やコロナ対策などの社会の変化に対応して、見直しが進められている。	39	53	8	0
3	学校は、ねらいに沿って一人一人の生徒が活躍できるような教育活動を工夫している。	32	59	8	1
4	学校は、ICT機器を活用し、一人一人を大切にしたり分かりやすい授業・楽しい授業づくりに努めている。	31	56	11	2
5	学校は、一人一人の生徒に学習内容が身に付く対策を講じている。	29	46	22	3
6	学校は、自主学習の習慣が身に付くようAIドリルの活用等の指導に努めている。	17	46	27	10
7	学校は、道徳性の育成と実践を強化する教育に努めている。	29	54	16	1
8	学校は、相手に伝わる気持ちのよいあいさつや返事ができる生徒の育成に努めている。	37	52	10	1
9	学校は、「生活の記録」によく目を通し、生徒理解に努めている。	40	51	7	2
10	学校は、マナーアップ運動、江戸パンボラなどを通してボランティア精神の育成に努めている。	45	48	5	2
11	学校は、生徒の自主性を生かした教室および校内環境づくりに努めている。	34	54	10	2
12	学校は、学校のきまりを守って生活できる生徒の育成に努めている。	35	48	15	2
13	学校は、家庭と連携を密にして、生徒の指導にあたっている。	39	45	13	3
14	学校は、教育相談などを通して生徒の悩みや相談に親身に対応している。	39	48	10	3
15	学校は、生徒のよさを生かし、心の居場所となるような学級づくりに努めている。	36	51	10	3
16	学校は、いじめを許さない、いじめが起きにくい環境づくりに努めている。	36	49	12	3
17	学校は、携帯電話の使い方、テレビを見る時間など家庭での過ごし方について指導に努めている。	30	44	20	6
18	学校は、地域人材や外部講師を活用した教育活動の工夫に努めている。	38	50	10	2
19	学校は、生徒の心身の健康や体力向上に関する指導の充実に努めている。	37	50	11	2
20	学校は、生徒に望ましい食習慣を身に付けさせるための指導に努めている。	29	51	17	3
21	学校は、生徒が部活動への参加意欲、体力、技術等の向上に努めている。	33	49	17	1
22	学校は、夢や希望をもって主体的に進路選択できる能力や態度を育てる進路指導に努めている。	30	49	18	3
23	学校は、各種通信、ホームページなどを通して学校の様子を積極的に保護者に伝えている。	50	44	5	1
24	学校は、生徒が交通ルールを守って安全に登下校するよう指導に努めている。	36	44	16	4
25	学校は、施設設備の危険箇所への対応、不審者対応など生徒の安全確保に努めている。	37	52	9	2
26	PTA活動は、保護者によく理解されて、協力的な活動を行っている。	37	50	10	3